

海上の森（かいしよのもり）

■ 海上の森は、瀬戸市の南東部に位置する海上の森は、都市の近郊にありながら、豊かな森林と農地、水辺地等があって、様々な野生動植物が生息し、生育する多様な自然環境を有しています。

■ 海上の森の一部は、2005年、「自然の叡智」をテーマとして開催された愛知万博の瀬戸会場となり、人と自然とのつながりを見直す契機となるなど、多くの成果を残しました。



■ そうした中で、海上の森は、自然が持つ素晴らしい仕組みを学ぶ場となり、人と自然とが共生する社会の実現を目指す愛知万博の理念を象徴する森となりました。

■ 愛知万博の理念と成果を未来に向けて確実に継承し、更に発展させていくために、海上の森を愛知万博記念の森として将来にわたって保全するとともに、県民が自然と触れ合い、交流する場として、



また、県内の身近な森林、農地、水辺地等における自然環境の適正な保全のための取組等を促進する場として活用し、

人と自然とが共生する社会の実現に資するものです。

（あいち海上の森条例 前文から抜粋）



海上の森の会

特定非営利活動法人「海上の森の会」設立趣意書（抜粋）

海上の森の会の活動は、主に瀬戸市南東部に位置する 530ha の丘陵地「海上の森」で自然環境調査、環境学習、森づくり、里づくりなどの事業を行い、人と自然の関わりのあるあり方を探求すると共に、それらの事業を担う人材の育成、市民の参加と交流の促進に取り組んでいます。

私達は、多くの人々の自然への関心を喚起し、自然体験活動や里山保全活動を通して、海上の森の持つ自然の価値を認識し、この地域に生きた人々の歴史を忘れることなく、海上地域ならではの里山文化を創生します。また、都市近郊に残された自然と持続的に関わりあえるような地域づくりと里山再生を目指しています。



- 会員数 約 160 名
- 会報 年 4 回発行
- 会費 一人 1000 円以上 / 年
- 設立年月日 平成 16 年 12 月 23 日
- NPO 法人 平成 21 年 11 月 8 日



収穫感謝祭の様子

◆◆ グループ紹介 ◆◆

グループ名	主な活動
自然環境調査	毎週 1 回自然観察及び調査を実施している。
海上の森ツアー	海上の森を学び知るツアーを開催している。
調査学習	テーマを絞って体験しながら調査学習する講座である。
耕地管理	海上の里の農地の管理を、年間通じて実施している。
里の再生	里の水路やため池の整備などを実施。基盤づくりである。
里の教室	農作物の栽培・収穫を参加者とともに実践し学ぶ。
野あそび	子どもたちに森や木での遊びを伝授。ともに学び楽しむ。
森づくり	森の手入れを一手に引受けて、間伐や枝打ちに果敢に挑戦。
森の教室	森の手入れを基礎から学ぶ講座を実施している。
生活史調査	海上に残る歴史や文化を調査し、記録として整理している。
里のくらし	里の年中行事を復活。収穫感謝祭も開催。
案内巡視	海上の森へ訪れる人への案内やゴミ投棄などの注意喚起。
サテライト管理	里山サテライトの鍵当番。清掃・草取り等維持管理も行っている。
情報	年 4 回会報を発行している。HP は随時更新。